

「新たな価値を創造」していくことで、 人々の多様なニーズに応える 「豊かな住まいと暮らし」の 実現に努めていきます。

(株)長谷工コーポレーション
代表取締役社長

池上一夫

この度は「長谷工グループ統合報告書」をご高覧いただき、誠にありがとうございます。当社グループは「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。」を企業理念に掲げ、「住まいと暮らしの創造企業グループ」として、マンションを中心とした様々な事業を行ってきました。これまでの発展を支えていただいた全てのステークホルダーの皆様へ心より御礼申し上げますとともに、当社グループが長年にわたって追求してきた住まいと暮らしの考えや、今後の経営方針についてご説明いたします。

2020年4月、代表取締役社長に就任し、2025年3月期を最終年度とする5ヵ年の経営計画「HASEKO Next Stage Plan(略称: NS計画)」がスタートしました。当初は、新型コロナウイルス感染症が社会全体に蔓延し、緊急事態宣言が発出されるなど厳しい状況に置かれていましたが、リモートワークが拡がり、住まいを見つめ直す新たな潮流が生まれました。住宅市況は低金利の支えもあって活況とな

り、計画2期目から当社グループは業績を回復することができました。また、昨今の世界的な物価高騰の厳しい環境下での従業員の頑張りに報いるために、2023年度に賃金の引き上げを行いました。処遇改善と併せて、引き続き、自律人材の育成とキャリア開発、イノベティブ人材・グローバル人材の養成、DX教育等に取り組んでいきます。

次にNS計画スタート後、この3年間の当社を取り巻く大きな変革についてです。一つ目は日本人の住まいに対する考え方です。コロナ禍において在宅ワークが急増し、自宅で過ごす時間が増えました。仕事から帰って過ごす場所であった住まいが、一日の多くの時間を家族と一緒に暮らす空間になりました。今の住まいを見つめ直し、より豊かな暮らしが実現できる住まいに移りたい。そのような潮流が生まれ、低い住宅ローン金利などが追い風となって、環境がよく、間取りに余裕がある郊外の分譲マンションを購入するという動きが一気に増えました。私は入社以来、一

